

# BTS、完全復帰で始まる「第2幕」 成長物語から大人の世界へ

堀山明子 毎日新聞 2025/6/7 05:00



米ホワイトハウスの記者会見室を訪れ、報道官の紹介を受ける BTS メンバー＝ワシントンで 2022 年 5 月 31 日、ロイター

韓国の人気音楽グループ BTS が帰ってくる――。

軍隊服役のため、グループとしての活動を中止している BTS の **RM さんと V さんが 10 日**、ジョングクさんとジミンさんが 11 日、さらに SUGA さんも 21 日に兵役を終え、相次いで除隊する予定だ。メンバー 7 人がそろって活動を再開するには数カ月の準備が必要とされるが、世界中のファンは早くも、完全復帰後の「第 2 章」に期待を膨らませている。

青春期の成長物語で共感を広げてきた BTS のスタイルは今後どう変わるのか。「アーミー」と呼ばれる世界の BTS ファンはどう呼応するのか。所属事務所から今後の活動方針に関する発表はなく、知りたい思いが募るばかりだ。

除隊ラッシュを前に、BTS 研究第一人者で、「BTS オン・ザ・ロード」（邦題）の著者、洪錫敬（ホン・ソクキョン）ソウル大韓流研究センター長の研究室を訪ね、BTS の今後の展望を聞いた。ロングインタビューを 2 回に分けて掲載する。

## 成長物語を卒業する時



米ホワイトハウスを訪問した BTS のメンバー = ワシントンで 2022 年 5 月 31 日、EYEPRESS ロイター

——BTS は青春期に抱く社会への不安や葛藤を表現し、世界中のファンから熱烈な支持を受けてきました。除隊後はどう変わるのでしょうか。

◆BTS の成長物語は、所属事務所の HYBE とともに、グローバルな成功を成し遂げた段階で完了しました。すでに終わった物語です。軍隊から戻ってきたら韓国では一人前の大人扱いをされる。未熟さを前面に出した「青春期の成長物語」は卒業し、「独り立ちした大人の世界」へ向かうでしょう。



兵役を終えた BTS のジンさんが 2025 年 5 月 22 日放送の米 NBC テレビのトーク番組に出演し、「Don't Say You Love Me」を熱唱した = BIGHIT MUSIC 提供

——BTS にとって物語とは。

◆私の本でも解説していますが、同時代の K-POP アイドルと比べて **BTS が卓越**していたのは、**メディアを横断しながら、物語を多元的に見せた**ことでした。

第一に、フィクションが入った BTS の楽曲とミュージックビデオの世界。第二に、アプリなどファン・コミュニティー用プラットフォームで見せるメンバーの日常生活があり、これは「チームとしての成長の物語」と言えます。そして第三には、メンバー一人一人の「実際の人生の物語」です。



大阪市の京セラドーム大阪で 2025 年 5 月 31 日と 6 月 1 日にコンサートを開き、2 日間で 8 万人を動員した BTS の J-HOPE さん = BIGHIT MUSIC 提供

ファンはこの **3 層**を行き交いながら、**音楽の世界観とメンバー個人の物語を結びつけて、自分のパートナーのように共感**してきました。兵役後も社会との葛藤を表現するでしょうが、青春期の不安ではなく、**独り立ちした大人の物語**になるのではないかと思います。

——メンバー個人の物語も変わりますか。

◆**ソロ活動の合間にチームで活動するぐらいの比重**に変わり、兄弟のような団結よりも、**個々の独立性や個性をさらにアピール**するでしょう。先に除隊した **J-HOPE の変身**を見て驚きました。ワールドツアーの一環で今年 5 月にソウルで開かれたコンサ

ートで、BTSの曲は3曲しか歌わずに、ゲスト応援もなしで2時間半やりきったのです。自分のスタイルを確立することに成功したと感じました。

## 守られる存在から自由に



BTSのJ-HOPEさんは2025年5月30日に公開されたデジタルシングル「Killin' It Girl」のコンセプトを表現した写真で、イメージチェンジを図っている = BIGHIT MUSIC 提供

——BTS物語が変わると、アーミーとの関係も変わっていくでしょうか。

◆K-POP文化の特徴の一つが、**ファンがアーティストを守ろうとする点**です。韓国芸能界では、アイドルがSNS（交流サイト）の発言でバッシングを受け、時には耐えきれなくて自殺に追い込まれます。スターになるまでの道のりがかなり険しいという事情が背景にあります。

特にアーミーは、BTSメンバーが韓国政界の保革対立に巻き込まれないように、政治的なメッセージから距離を置くことを望んでいました。**彼らが決して保守ではないことを知りながらも、傷つかないように柵をはめてきたのです。**「ファンが道を切り開くから、メンバーは其中で思い切り活動して成功してほしい」という姿勢です。**アーティストとファンが、ある種の契約関係にある**とも言えます。

——一人前の大人になった BTS は、ファンに守られる存在からも卒業しますか。



兵役を終えた BTS のジンさんが 2025 年 5 月 22 日放送の米 NBC テレビのトーク番組に出演し、復帰後の展望を語った = BIGHIT MUSIC 提供

◆ファンとの関係からも、少し自由になるでしょう。権威主義に対抗する政治的な発言や、LGBTQ（性的少数者）の権利を擁護する具体的な活動まではしないと思いますが、分断国家である韓国に生きるインフルエンサーとして、平和や環境問題に関する発言は増える可能性があります。特に RM ら年長組のメンバーは、自らの声で発信していくでしょう。

一方、アーミーも変化していくかもしれません。メンバーと同年代のコア層は、一緒にスタイルを模索しながら、年を重ねていくでしょう。BTS の将来的な鍵を握るのは、これからの「第 2 章」で 10 代の新たなファンをどれほど獲得できるか。末っ子のジヨンクが、自分より年下のファン層をどこまで広げられるか、注目したいですね。 = 後編に続く

【堀山明子】

ホン・ソクキョン氏



著書「BTS オン・ザ・ロード」の（右から）日本語版、韓国語版、英語版を手にする洪錫敬  
ソウル大韓流研究センター長＝ソウル大で 2025 年 5 月 7 日、堀山明子撮影

## BTS が米国で起こした地殻変動 マッチョな「男らしさ」に風穴

堀山明子 毎日新聞 2025/6/8 05:00



米グラミー賞のレッドカーペットに立つ BTS メンバー＝ロサンゼルスで 2020 年 1 月 26 日、ロイター4

韓国の人気音楽グループ BTS が帰ってくる――。

青春期の成長物語で共感を広げてきた BTS のスタイルは今後どう変わるのか。「アーミー」と呼ばれる世界の BTS ファンはどう呼応するのか。6 月中にメンバー 5 人が兵役を終える除隊ラッシュ

を前に、BTS 研究第一人者で、「BTS オン・ザ・ロード」（邦題）の著者、洪錫敬（ホン・ソクキョン）ソウル大学韓流研究センター長の研究室を訪ね、BTS メンバー7人が完全復帰した後の「第2幕」について展望を聞いた。2回にわたるロングインタビューの後編を掲載する。



プラットフォーム「ウィバース」の BTS ファン会員用のページ（右）と、アーミーが集う X の公式アカウントの一つ。アーミーの X は国別、地域別に複数あり、自発的につながっている = 2025 年 6 月、堀山明子撮影

## ゲーム産業化するファンダム組織

——K—POP の熱烈なファンは「ファンダム」と呼ばれますが、市場が世界に拡大する中で、ファンとのコミュニケーションの方法も変わりますか。



米ホワイトハウスを訪問した BTS のメンバー = ワシントンで 2022 年 5 月 31 日、EYEPRESS ロイター

◆ここ数年で、携帯アプリなどで使えるファン・コミュニティのプラットフォームが広まりました。巨大芸能事務所は、チケット販売だけでなく、複数のアイドルの写真やメッセージを一つのプラットフォームで管理しています。ファンの囲い込みであり、そこで商売しようという発想です。



2025年3月、米メディア「コンプレックス」が「歴代最高のK-POPとラップコラボレーション15選」を発表し、BTSのメンバーやグループの作品が5曲選ばれた。写真はグループの曲「Butter」より = BIGHIT MUSIC 提供

(所属事務所の) HYBE も**ウィバース**というプラットフォームに力を入れ、ゲーム業界の幹部をかなり登用しています。K-POP界がゲーム業界化しつつあります。その結果、事務所からファンへのトップダウン式の情報伝達は早まりましたが、ファン同士の横の連帯は弱まりつつあります。

——世界中が連帯したアーミーのつながりも弱まってきたのですか。

◆グローバルに活躍するアーミーは、巧みに対応しています。チケット購入でプラットフォームを使うものの、ファン同士の横の連帯は主にX(ツイッター)でやりとりするという形で、二つの世界の使い分けをしています。ただ、両方を使いこなさなければ、二極化が進みます。

K-POP ファンの底力は、推しのアイドルのために目標を立て、その実現のために自分は何をすべきか理解し、それぞれが自発的に役割を果たす自己管理能力です。それは命令ではなく、ファンだけの横のつながりから生まれるので、芸能事務所が一方的にファンを管理しようとするれば、うまくいかないと思います。



米ホワイトハウスの記者会見室を訪れ、報道官の紹介を受ける BTS メンバー = ワシントンで 2022 年 5 月 31 日、ロイター

## 威圧的「男らしさ」の対抗軸

——K-POP を国際化した BTS のグローバルな存在感は、今後  
も続くでしょうか。

◆ **BTS は人種やジェンダーの壁を越える存在として、米国で地殻変動**を起こしました。ハリウッドやディズニー映画に出てくるような、**マッチョで威圧的な男らしさを超える新しいスタイルとして、メイクをした美しい男性の登場は斬新**だったのです。だから、トランプ米大統領の支持者からは敵視されています。



国連総会のイベントに参加した BTS のメンバーたち = 米ニューヨークの国連本部で 2021 年 9 月 20 日 (代表撮影)

——ジェンダー問題を声高に訴えなくても、存在そのものが革命的なのですね。

◆世界的には、K-POP アイドルを通じて性的アイデンティティを模索する人も多く、表立っては言いませんが、K-POP と LGBTQ (性的少数者) の文化は共鳴しあっています。

性的アイデンティティを模索する欧米の 10 代にとって、**BTS は参考にする「第 1 次資料」と評価されています。** 支配的な男らしさに変わるロールモデルを創造し、だれも行かなかった道を歩いています。今後も注目され続けるでしょう。



ファンの祭典「BTS10 周年フェスタ」に参加するため世界から集まったアーミーら = ソウル市内で 2023 年 6 月 17 日、ロイター

——先生はアーミーなのですか。

◆書いた文章を読んだ人からよくそう言われますが、あくまで研究者として観察しています。研究していて楽しく、K-POP 文化に希望を感じているのは事実です。コンサートに行くと、会場がソウルでも世界中のアーミーから連絡がきます。かつて植民地支配を受け、途上国だった韓国で生きる痛みは、多くの国々で共

感を呼びます。それを表現する K-POP は、韓国が世界とつながるチャンスになると思っています。

【堀山明子】



インタビューに応じる洪錫敬ソウル大韓流研究センター長。手前の本は著書「BTS オン・ザ・ロード」（左）と「世界化とデジタル文化時代の韓流」＝ソウル大で 2025 年 5 月 7 日、堀山明子撮影

## ホン・ソクキョン氏略歴

1963 年生まれ。専門分野は言論情報学で、ソウル大博士課程修了後、仏グルノーブル大学で博士号を取得。2000～13 年に仏ボルドー大学副教授。13 年からソウル大学教授となり、22 年に設立された同大韓流研究センターの初代センター長に就任した。

18～19 年にかけて BTS のワールドツアー 5 カ所に同行し、「アーミー」と呼ばれる BTS ファン 92 人にインタビュー。著書「BTS オン・ザ・ロード」を出版した。